

県連ニュース

2019年 1月号 NO-498



滋賀県勤労者山岳連盟

2019年 新年号

目 次

新年のご挨拶	2
寄稿 エッセイ「山屋の遺伝子」	3
案内 第40回 近畿ブロック搬出技術講習会	4
報告 第10回 理事会議事録	6
第2期 ハイキングセミナーⅢ	9
岩登り講習会(三上山)	10
ステップアップ登山講座4	12
「韓国の山」 山行報告書	15
ぐうたら理事長のつぶやき	19
予 定 表	20

表紙の写真 2018/11/23 撮影

『北・山の辺の道の百毫寺参道から奈良市街』

滋賀山友会所属 山森 恵子さん提供

新年のご挨拶

滋賀県勤労者山岳連盟
会長 秋田 誠

新年おめでとうございます。

日ごろ、滋賀県勤労者山岳連盟の活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

さて話は変わりますが、「海遠点」という言葉をご存知でしょうか？ カイエンテン??

登山歴ウン10年という人でも、「海遠点」を知っている人はそんなに多くないと思います。偉そうに言っていますが、私も「海遠点」を知ったのはほんの1か月くらい前のことです。

「海遠点」とは、日本の陸地で海から最も離れた地点のことだそうです。それでは「海遠点」ってどこにあるのでしょうか？ 「海遠点」のことを教えてもらったとき、私はそんな場所、北海道以外に考えられないと思いました。ところがびっくり。「海遠点」はなんと長野県佐久市にあったんです。佐久市の群馬県との境に近いところに榊山（さかきやま、標高 1,257m）という山があるのですが、この山の手前の標高 1,200m 地点が「海遠点」なんだそうです。この地点から最も近い海岸まで、直線で 114.853 km（国土地理院）あるとされています。「海遠点」のことを紹介しているガイドブックもあるそうです。

「海遠点」が発表された当初、佐久市は観光スポットとして道を整備するなど頑張ったようです。しかしその後、予算の関係で保守管理が行き届かず、せっかくの道も今では分かり難くなっているみたいです。ときには趣向を変え、地図を頼りに「海遠点」を訪ねてみるのも面白いのではないのでしょうか。

ひと口に登山と云っても、〇百名山、フリークライミング、沢登り、岩登り、と切り口は沢山あります。年の初めに際して、今年は頂上に立つことを目的とせず、「海遠点」を巡るようなひとひねりした山もやってみようかな、と思っています。皆さんは今年、どんな山を目指しますか？

— リレーエッセイ —

「山屋の遺伝子」

シャクナゲ遡行クラブ

太田 理

遺伝子の改変には、倫理的な問題があるなどと、最近では技術の進歩もあって盛んに言われるようになりましたが、親の血を引いて自然と山屋になってしまう、そんな遺伝子があるのかなのか気になります。

年を重ね還暦を過ぎ、未だに飽きもせず山登りを続けている。生涯の大部分が過去のものになり、特徴的なことも、印象的なことも、性格的なことも、既に表面に出尽くして、全てが色付けされた後という状態に居ながら、なお山登りを止められないでいる。これは、ただ習慣付けられているのではなく、歩け歩けの遺伝子が存在するからではないでしょうか。

ここで、遺伝子と言う以上、父親について少し記します。父は、小学生だった僕と妹を醍醐山や立木山や太神山へ、よく連れて行ってくれました。

比良駅から武奈ヶ岳登山を案内してくれました。昭和 20 年代、父は比良山に何度も登っていたようで、炭を背負って山を下る囚人に煙草をねだられた経験があるようなことも話していました。

しかし後になって気付いたのですが、父が子供に見せたかった八雲ヶ原はスキー場に変っていたのです。高層湿原の魅力は、半減していたのです。本人の思い出の場所もなくなり、気落ちしていたのではないのでしょうか。

何しろ、生前に山登りの話は詳しくしなかったもので、槍ヶ岳、白馬岳、富士山、それらの山へ行って頂上まで登ったのか、どのくらい困難だったのか、誰と登ったのか、聞かされていません。戦後間もない頃の登山ですから、国鉄の梅小路機関区の山岳会で、どれほどの登山が可能だったのか、現在の社会環境しか知らない人間には想像も出来ません。

ただ、帆布に木製ポールのテント、ツルハシの様なピッケル、そんな装備が残されている所を見ると、相当体力勝負の登山だったことが推理されます。

僕自身、相当に沢登りには打ち込んだ積りですが(打込谷にも登ったし)、しかし父親から見れば、まだまだ半人前だったかも知れません。

今度、そのツルハシの様なピッケルを持って、冬の武奈ヶ岳に登ってみようかと思っています。ピッケルにとっては、60数年ぶりになるのでしょうか。

山屋の遺伝子、それは知らず知らずに親の行動をなぞっている、身体を巡る血の中にあるのではないのでしょうか。それぞれ技術や体力に違いはあるとしても、それなりのハイキングを続け、山登りを止めようとは思わない辺りは、不思議と思わざるを得ません。

第40回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

尾根搬出、岩搬出、岩のセルフレスキュー【事前申し込み制】

●日時 2019年4月7日(日) 8:00 受付開始 8:30~15:30 雨天決行、警報発令中止

●場所 百丈岩やぐらおよび百丈岩周辺 (JR道場駅より徒歩約30分)

●内容 引き上げ引き下ろしシステムのレスキュー、背負い方法等のレスキューシステムを実践で学ぶ。

●コース

・尾根コース・岩コース (初級者・経験者コース)

・岩セルフレスキューコース

いずれのコースも事前受付となります。 (岩セルフレスキューコースは先着10人です)

●装備

・尾根コース：ヘルメット*、ハーネス*、自己確保用装備*、安全環付カラビナ*、スリング*、デイジーチェーン又はパス、確保器、カラビナ等

・岩コース・岩セルフレスキューコース

ヘルメット*、ハーネス*、自己確保用装備*、確保器*、安全環付カラビナ*、デイジーチェーン又はパス*、カラビナ*、クイックドロワー*、スリング*、アブミ、ハンマー等

***は必須装備です** 上記の他、各コースとも一般装備 (行動食、水筒、雨具等) 必要

●対象者

・岩登りの経験があり、搬出技術の向上を目指す方。

・「岩セルフレスキューコース」は搬出技術講習会の参加経験者で主に岩登りをされる方のみとします。

・新特別基金、又は、それに準じる山岳保険加入者。

●参加費 資料代300円

●申し込み方法

参加ご希望の方は所属会を通じて氏名・性別・希望コースを各府県連盟へ事前に連絡をお願いします。

各府県連盟は3月18日(月)までに近プロMLに報告をお願いします。

<特記事項>

●雨天決行です。当日の朝の7時30分時点で警報発令時は中止します。

●訓練中の事故等に対しては自己責任での安全確保をお願いいたします。各コースともヘルメットのない方は参加できません。

●前夜泊は鎌倉峡河原にてテント泊可能です。(場所に限りがあります)

●お車でお越しの方へ

・当日はたくさんの参加者が予想されます。出来るだけ公共交通機関をご利用下さ

い。車の場合は、道場駅前の駐車場もしくは鎌倉茶屋管理の奥の駐車場（いずれも有料）をご利用下さい。

- ・道場駅からやぐら前まで路肩は駐車禁止とします。
- ・百丈岩やぐら前は講習会場として使用しますので駐車できません。
- ・夜間遅くに来られる方は、近隣住民の方へのご配慮をお願いします。

第40回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

ハイキングコース

- 日時 2019年4月7日（日）9：30 受付開始 9：50～15：30 雨天決行
- 集合・会場 和歌山市北コミュニティセンター（JR 阪和線 六十谷駅より東へ徒歩 25 分）

和歌山市直川 326-7 和歌山さんさんセンター紀の川内 TEL:073-464-3031

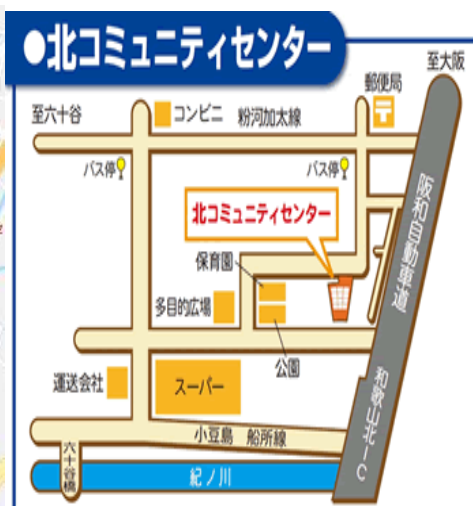
- 持ち物 山行時の装備一式
（昼食、水筒、雨具、ストック、三角巾、スリング<120cm・60～100cm>、カラビナ等）

- 内容 応急手当、搬出技術
- 対象者 ハイキングの山行リーダー及びハイキングでのレスキュー技術の習得を目指す方。
- 参加費 資料代 300 円

<特記事項>

- 講習中の事故等に対しては自己責任でお願いいたします。
- 軽登山靴、または運動靴で参加可能です。
- 参加を希望される方は事前に所属会を通じて氏名・性別を各府県連盟へ連絡をお願いします。

各府県連盟は3月18日（月）までに近プロMLで和歌山県連へ報告をお願いします。



2018年度 第10回 理事会報告

日時：12月13日(木)19:00 - 20:30

於：県連事務所

司会：友永 記録：古川

出席：北村、友永、濱、池田、三崎、中島、高玉、今村、宮内、番浦、古川、川端

欠席：(連絡あり)秋田、奥野、東郷 (理事会定数 15名)

議事

1. 清掃登山

以下の内容を確認した。担当：自然保護部(中島・古川)

スケジュールの確認

3月中旬 自治体(11)その他協力団体(9)に協力依頼。

岩雪、好日山荘に広告依頼。

下旬 各会コース等決定依頼

4月中旬 自治体首長のメッセージ回答期限

チラシ原稿の作成、印刷発注

下旬 チラシを自治体、関係団体、県連各会に送付

5月上旬 しおり、リーダーの手引きの内容を各会に確認

中旬 しおり、リーダーの手引き原稿作成、印刷、発送

6月上旬 報告文、写真まとめ

中旬 会計報告書作成

自治体、協力団体に報告書送付

2. 総会議案書作成

* 以下のスケジュールで分担、作業を進めることを確認・決定

2018年度活動報告／2019年度活動計画(案)の草稿を北村まで提出(期限：12/20)

教育部(番浦)、自然保護部(中島)、遭難対策部(今村)、機関紙部(奥野)、

組織部(池田)、財政部(宮内)、救助隊(友永)、CSS(北村)、SKI-NET(北村)

* 総会までの日程(案)

1/10(木) 第11回理事会：議案検討-1(今年度の事業報告：草稿依頼：自然保護部は受領済)

1/24(木) 第 12 回理事会: 1次修正議案検討-2、決算案検討

(次年度の計画案と会計報告立て替請求 1/末までにする)

2/7(木) 代表者会/第 13 回理事会: 議案検討、決算・予算案検討

2/20 ごろ 議案書印刷、製本、発送 (機関紙発送と同時が望ましい)

3/7(木) 第 14 回理事会: 総会準備、(資料集印刷) 当日持参のため直前で OK(5名で 2.5 時間ほど)

3/10(日) 総会(滋賀県スポーツ会館)

3. 各部報告

組織部: 会員動向(前年度末対比 205/214 95.8%)

山友	岳友	雪稜	彷徨	ちごゆり	シャクナゲ
73/74	54/54	45/45	12/12	16/16	5/5
合計 2018.10E/2018.9E					
205/206		99.5%			

教育部:

第2期ハイキングゼミナーについて

第2回実技 11/10 音羽山、3人参加

第3回実技 11/17 音羽山周辺 3人参加、3回目のコース前半は倒木がひどかった
来年度は春・秋に実施したいと考える

遭難対策部:

12/8 三上山初心岩登り 6名申込あり

定員5名であったが強い要望があり6名で実施

実施項目が多くあったが、半分ぐらい実施できた

自然保護部:

11/28 の全国講習会には出席できなかった。

機関紙部: 県連ニュース 1月号について報告と依頼

原稿締切り 12/15 、印刷・発送 12/20

表紙の写真を宮内氏に依頼済み

新年あいさつ: 秋田会長に依頼済み

リレーエッセイ:シャクナゲの太田さんに依頼

搬出講習会の案内、ぐうたら理事長のつぶやきは理事長に依頼

財政部: 特になし

救助隊:

装備の点検を 1/24(木)15:30 より行う。そのあと第 12 回理事会を行う

SKI-NET:

12/22～24 野沢高原、12/28～1/1 妙高高原、1 /12～14 妙高高原

CSS:

11 月 9～11 ステップアップ 黒法師岳

5.その他:

- ・11/23～24 全国登山研究集会 愛知県 参加費 8500 円(総額の半額補助)

参加希望者無し

- ・会長人事:来期から考えるが人選が難しい。適任者がいれば連絡ください。

代表者会議(1月7日)の議題とする。

- ・近畿ブロック雪崩講習会(ビーコン、理論、実技)参加者募集(県連ニュース10月号掲載参照)

申込み担当者:県連今村 → 申し込み希望者無し

- ・近畿ブロック搬出打合せ 12/10 19時～大阪府連事務所(友永)

ハイキングは4/7和歌山で実施、滋賀が協力、滋賀県連は2班受け持つ→4名のスタッフで実施。

岩場搬出は六甲百丈岩で実施、滋賀は適任者不在のため担当なし

これらの行事は県連として補助がある。各会、参加者を勧誘してほしい

- ・近畿ブロック代表者会 1/16 19時30分～大阪府連事務所 友永理事長が出席予定

- ・全国連盟評議会 2/16～17 東京都府中市ホテルコンチネンタル 友永理事長が参加予定

次回 第11回理事会 1月10日(木)19:00～

音羽山(2018年 第2期ハイキングセミナーⅢ)

2018年11月17日 曇りのち晴

(参加者) 友永、豊田 講習生 雪稜会 齊藤 岳友会 南澤

(コースタイム)取らず

国分団地---国分山---国分峠---361mP---若葉台分岐---460mP---観音越
---平尾

(報告)

雨を心配して滑り易い急な下りが登りになるように逆コースにしたが、幸いにも雨は降らなかった。石山駅よりバスで国分団地に行く。バス停の先から取付く。今回は全般的に荒れたコースなので足元注意だ。地図で赤丸をつけた地点を確認しながら先頭を交代しながら進む。3つ目の鉄塔が赤丸だが、なぜそうなのかを説明してもらう予定だったが、ついつい説明してしまった。倒木が多くなり右に左によけながら行く。大きくずれると元に戻るのが大変だ。ルートファインディングが必要だ。国分山から国分峠の間は特に倒木がひどかった。それでもピークを確認しつつ思ったより早く峠に着いた。一登りして緩やかになった所で、下に池が見えたので現在地を確認する。3度目ともなれば皆さん簡単に合わせる事が出来た。少なくなったが相変わらず倒木がある。地図で三角形になった緩いピークの先が赤丸だが、特徴が無いので行き過ぎてしまう。良く尾根の流れを読む必要があります。その先の急な登りが終わったピークで食事とする。ここから361mピークまで尾根は細かく曲がりくねって地図読みには最適な所です。361からは倒木もなくなり歩き易くなった。若葉台分岐から先はずでに歩いた事のあるコース。全般的に講習生にお任せする。460mピークで休み、平尾へ続く尾根に下ればほぼ講習も終了です。2か所の赤丸を無事に？クリアして平尾に着く。膳所駅まで歩いて王将で簡単な反省会と打ち上げをして解散した。

思いがけない倒木で苦労しましたが、その分ハイキングセミナーを越えた経験ができたのではないかと思います。ルートファインディングの巧拙が時間に大きく影響します。良く回りを確認して進むことが大切です。

一口感想

南澤(湖南岳友会)

今回は受講者が交代でルートを確認しながら先頭を歩きましたが、国分団地からの登山道には倒木がたくさんあり、それらを巻きながらのルート取りは難しかったけど良い経験になりました。

地図には表れないアップダウンや、わかり難い尾根や谷に惑わされて、???となることもあります、「大きく地図を見る」ことを意識して、早く地図を読めるように努力して、実践に繋げ安全な登山をしていきたいです。

齊藤(比良雪稜会)

この日の前半は、雑木林をかき分け、クモの巣をはらい、倒木をまたぎ、まるで藪漕ぎ状態で、まさに、地図を片手のルートファインディングそのものでした。前回までに習った「地図に磁石を当てて、進むべき方向を逐一確かめる「実践」は、本当に真剣にやりがいがありました。心から難しいけれど面白い！と感じ、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。講習会最終日としての、先生からの出題に答えることは、やはり難しいものでしたが、これからも磁石を持って、学んだ事を忘れないように繰り返し確認し、本当に身につけていきたいと思います。

講師の先生方には、根気よく終始丁寧なご指導をしていただき、感謝この上もありません。本当にありがとうございました。



三上山(岩登り講習会)

2018年12月8日 晴

(参加者) 友永、馬場、松本、堀江 雪稜会 小林、齊藤、糸井、西田

(コースタイム)取らず

御上神社---裏登山道登山口---二越の岩場---裏登山道登山口---御上神社

(報告)

野洲駅で齊藤さんと合流しバスで御上神社へ向かう。駐車場には雪稜会の3人と山友会の2人の方が待っておられた。馬場さんの到着を待って自己紹介をして出発。裏登山道の登山口にある東屋でロープの結び方を実施。8の字結び、テグス結び、テープ結び、プルーシックなど約1時間行って二越の岩場に向かう。裏登山道より表登山道を経て二越の岩場に到着。まず昼食をすませて、ロープをセットし取付きに下る。まず三点支持の確認をしてトップロープでそれぞれ登ってもらう。ハンドホールドやフットホールドを確認しながらゆっくり登る事を心掛けてもらう。予定では3つのルートを設定していたが、時間がなかったのが易しいルートと少し難しいルートを2回登下降してもらう。最初は時間がかかっていたが、2度繰り返すとだんだん早くなった。足の置き方やハンドホールドの使い方など工夫されていた。どうしても手に頼って足に十分な荷重がかからない傾向にあります。岩登りは習うより慣れろです。何度も繰り返すことで自信が付き、必ず登れるとの確信に変わります。

トラバースやプルーシック登りもやる予定だったが、皆さんの希望で予定になかった簡単な確保の方法を実施した。短い時間ではなかなか納得してもらえなかった。駐車場まで戻って解散した。短い時間なので、もっと重点的に必要な技術に力を入れるべきだったと思った。

一口感想

齊藤(比良雪稜会)

三上山裏登山口の駐車場横の東屋でのロープワークの講習会は、まず8の字結び、テグス結びなどを教えて頂きましたが、まるでマジックを見ているみたいに感じ、なかなか実技が追い付かず焦りましたが、友永さん、馬場さんのお二人にじっくり時間をかけて見て下さったお陰で何とか出来ました。

念願の岩登りでは、フットホールドについて学びましたが、1回目は怖さが先に立ち動けなくなる場面もありましたが、2回目以降は体が慣れてきて恐怖心も薄らぎクリアできました。友永さんがビレイして下さっている事が気持ちの安定につながったのだと思います。易しいコース、難しいコースの終了後に、二人一組でのビレイのやり方など見ながら、ロープにかかる荷重についての話など聞き、知らなければならぬことの多さを知った一日でした。

気が付くとよく晴れた小春日和の中だったので、気持ちもほぐしてくれたのだと思います。岩場の端にはピンク色のツツジが存在する咲いていて、私たちを歓迎してくれているかのような様子でした。友永さん、馬場さん本当にお世話になりました。

南アルプス黒法師岳

--- ステップアップ登山講座 4 ---

田中啓子／比良雪稜会

【日 程】2018年11月9日(金)～11日(日)

【天 候】晴れ

【講 師】秋田(彷徨倶楽部)

【受講生】森原、川端、高岡(湖南岳友会) 其阿弥、田中啓(比良雪稜会)

【行 程】11/9(滋賀組車) 竜王 18:30＝栗東IC(名神高速・新東名高速)島田金谷IC

＝道の駅「フォーレなかかわね茶茗館」23:00

(秋田車) 須玉 15:00＝R52＝静岡駅＝道の駅「フォーレなかかわね茶茗館」22:30

11/10 道の駅「フォーレなかかわね茶茗館」6:30＝寸又峡温泉駐車場 7:50～8:15…前黒法師岳登山口 9:00…栗の木の段 11:05～11:15…前黒法師岳 14:30～14:40…ヘリポート跡(TS)16:05

11/11 TS 5:40…二つ山 6:25～6:40…黒法師岳 9:15～9:50…TS 13:05～13:40…前黒法師岳 15:05～15:15…栗の木の段 16:20～16:30…前黒法師岳登山口 18:35…寸又峡温泉 19:20＝帰滋

今回の講習課題は地図読みと天気図。

黒法師岳は南アルプス深南部の山の一つで標高2,068m。また国土地理院の地形図で山名が記載されている2,000m以上の山としては本邦最南にある山でもある〔因みに、本峰最南のピークは山名は記載されていないが、黒法師岳の西に位置する「バラ谷の頭(2,010m)」である。〕当初、麻布山登山口から登頂する予定であったが、天竜スーパー林道が今年の台風被害で崖崩れ通行止めとなっているため、長い林道歩きを避けて寸又峡温泉から登ることになった。



寸又峡温泉から出発



ヘリポート跡のテン場

寸又峡林道から前黒法師岳登山口まで約40分。紅葉と遠くに見えるパワースポット「夢の吊橋」を楽しむ観光客で賑わっている。飛龍橋を渡るころにはグリーンの渓谷を写真に収める数人のみとなる。登山口からロープが張ってあり急登。地図読みしながら受講生が交代で先頭を歩く。しばらくすると石積み所々現れ集落跡がうかがえる、イワカガミの群集地もある。前黒法師岳まではしっかりと木に赤ペンキで印がついている。今夜の幕営地であるP1706ヘリ

コプター跡に到着。テント設営後、林道を 2、3 分進むと古びた消火器にテープが巻いて横たわっている。その沢を下ると水を確保することができた。念のために共同水を各自 1 リットル持ち上げていた。テント設営場所から離れた所に焚火跡があり、そこで焚火を囲み夕食を摂る。その後、念入りに火の始末をし、テント内に戻り高層天気図の講義を受ける。

翌日、夜明けと共に黒法師岳を目指し出発。しばらくすると唐松と朝露の笹が朝日で赤く輝いて美しい。黒法師岳に近づくにつれて笹藪が広がり藪漕ぎとなる。また背丈ぐらいの深い笹藪もあり道がどこにあるのか分かりにくい。山頂手前で、今回初めての登山者 3 名とすれ違う。やっと到着。一等三角点の標石は「×」印が刻まれており、三角点愛好家に人気の山とのこと。中々行きづらい山に登頂でき皆で喜び合う。テン場に向けて下山開始。ほとんど赤印もなく地図読みを実践しながら、その都度方向・角度を確認し指導を受ける。テン場に戻りテント撤収。再び前黒法師岳への急登と寸又峽への急降下し下山する。



黒法師岳の「×」印標石

三角点の標石
上: 黒法師岳の標石
左: 通常の標石



背丈ほどある笹藪を行く



黒法師岳山頂

【一口感想】

■最南端の2,000m峰登頂、急登、藪漕ぎ、焚火、地図読み、高層天気図勉強と内容の濃い充実した山行となりました。良かったこと2点。赤布の無いルートを輪番制で先頭を歩き、ある程度地図読みしながら歩けたことです。先頭を歩くことで、どこが分岐か、尾根筋の切り替えはどこか？など、地図を頭に入れ、歩きながら判断することが求められます。実践を通じてある程度、学べたと思います。2点目は、子供の頃以来となる焚火を囲み直火で焼いた「焼き芋」の味は、懐かしさもあり「甘く・ホクホク」大変美味しかったです。食但さん、ありがとうございました。改善点として、講師の行動から山行中に読み取れる地図の大きさにしておくこと、事前に分岐や曲がる箇所を把握し

現地で判断できることが重要であることです。また、笹藪や急登の影響で下山時暗くなり、登山道を示す赤布の視認性を高めるためには、輝度の高いヘッドランプが必須であることを、ヘッドランプ交換で良く分かりました。明るいヘッドランプに買い替えたい。今期のステップアップ登山講座は、今回の山行で最後となりました。これまで学んできたことを今後の山行に活かし安全で面白い山行にしていきたい。
(森原利光)

■良かったこと

- * 寸又峡はミルキーブルーの湖面に「夢の吊橋」が架かり素晴らしい紅葉の絶景スポットだと知ったこと。
- * アルプスでしかも快適なヘリポートでの焚き火とじっくりホクホクのお芋を食べたことが思い出深い。
- * アプローチの長い黒法師岳を踏めた。また、三角点に刻まれている話題の「×」の印を見れた。
- * 地図の植生記号(特に笹地)を気にしながら地図を確認できたこと。

課題

- * マーキングに気付かないと踏み跡を間違えてしまう。コンパスの方向だけでは正しい踏み跡が分かりづらく見極めが難しい。
- * 笹藪は踏み跡が隠れており、方角を定めることが重要だと思った。
- * 山の天気と地図読みが出来たら心強いと思うが、直ぐには身に付かずこれから進む先や斜面がどのような地形なのか常に意識するように習慣化しなければいけない。高層天気図の講習を受けて、天気図の活用により低気圧、前線の進路や推移など自分で予報が可能となり、山の楽しみ方に幅が拡大し面白くなると感じた。
(川端久美子)

■ 地図読みで、比較的分かりやすそうな尾根にもかかわらず、前後の尾根筋ばかり気にして、どのくらい距離を進んだか分からず分岐の位置を誤ったりしました。リーダーから指摘され、派生する尾根の確認が重要であることを学びました。地図で現在位置を確認しながら晩秋の南アルプスを歩く。大変でしたが充実した山行でした。焼き芋はとても楽しく美味しかったです。(其阿弥道子)

■ 登山口は世界で 10 選に選ばれた「夢の吊橋」があり、朝陽を浴びる寸又峡の紅葉に魅せられ登山口に到着すると、いきなりの急登。その後も続く二子山や前黒法師岳への急斜面のアップダウンは寝不足の身体に堪え足が吊る。葉を飲んで何とかテン場に到着しホッとした。夕食のカレーうどんは疲れた身体に染み込み山での焚き火と焼き芋は初めてで感動。高層天気図の講習もあり今後視野を広めて行けたらと思う。

2 日目はよいよテン場から黒法師岳へアタック。頂上に近づくにつれ背丈までの笹原の藪漕ぎは朝霧でズボンがドボドボ。霧が立ち込める頂上は幻想的。変種の一等三角点の撮影に四苦八苦し直ぐに下山に取り掛かる。テン場に到着するも皆で要領よくテント撤収。

結局ヘッドデンを付けての下山となったが、足元を注意しながらも思いやりの声かけや、先頭の人へは道標を見つけるために明るいヘッドデンに交換した。

登山口に到着するとハイタッチや握手など皆が無事に下山出来た喜びと安堵感に包まれ、仲間と協力し合う喜びを感じた山行となりました。
(高岡範子)

■ 2017年11月の池口岳に続き、南アルプス深南部で地図読み山行を実施しました。磁石の使い方と地図の読み方にはだいぶ慣れて頂いたと思います。南アルプス深南部とは、光岳から今回登った黒法師岳までの山域を指します。この山域には、登山道がないあるいは不明瞭、山頂まで長い稜線を重荷で登高しなければならぬなど、総合的な力を試される山、端的に言うなら登り甲斐のある山が幾つもあります。今回の経験を生かしてぜひ深南部の名峰を訪ねてください。

(秋田 誠)

韓国の山 山行報告

山城：大苞山(テドゥンサン) 内蔵山(ネイジャンサン) 扶余山城(フヨサンソン) 江華島(カンファド)

日程：2018年10月19日(金)～23日(火)

参加者：谷内資康(CL)村田啓二(SL 記録) 谷内里美(会計)

村田恵美子 三崎せつ子 渡壁由美子 小嶋三貴子

行程

19日(快晴) 谷内宅 5時＝7時関空(チェジュ航空)10:20＝12:20 仁川空港 13:30(高速バス)＝16時政府大田庁舎地下鉄駅＝(地下鉄)儒城温泉駅…17時レジェンドホテル(泊)

バスの車窓から



地下鉄 ICカードゲット



夕食タイム



出発便が30分遅れたが、仁川空港前から大田市行の高速バスに乗り。3列シートでゆったり約2時間30分乗って政府庁舎前で下車。地下鉄に乗り換え、ホテルに着いて温泉入浴後、夕食はサムギョッサルで乾杯。

20日(快晴) 大苞山

起床 4:40 ホテル 5:30(タクシー)＝大田西部バスターミナル 6:10(34番バス)＝テドゥン山休憩所(朝食)7:00～7:30 登山口 7:40…休憩 9:23～33…休憩 11時～15…クムダリ(雲橋)11:20…三仙階段 11:30…頂上 878m(開拓塔) 11:50～12時…昼食 12:10～45…摩崖仏 13:15～30…(水落溪谷)…休憩 14:20～27…勝戦塔 15:40…15:50 論山側バス停(バス)16:05＝大田市内(途中で乗換)儒城温泉駅…ホテル(泊)

早朝、西部バスターミナルに着く。テドン山行のバス乗場はターミナルの外にあり親切なバス発着場のおじさんが乗場まで案内してくれた。終点到休憩所(食品・食堂)があるが店はおじさん一人で朝食はまだ無く、卵や焼きトウモロコシを買って朝は各自ありあわせの食事ですませる。バスに同乗した登山者がバス停からすぐ横の登山口を覚えてくれたが稜線に出たらから予定コースは30分以上歩いた先のロープウェイの乗車口だと判った。

入口を間違えたおかげで眼下に広がる雲海を眺め、アップダウンの続く尾根を歩き、登山客で賑わうクムダリまで150m程下山するなど思いのほかハードな登山となりました。クムダリから三仙階段に続く景色は絶景で岩稜帯の稜線歩きも眺めが良く、標高800m台の山とはとても思えません。

頂上は人が一杯なので稜線沿いの向かいにある岩峰で昼食を取り、展望台のある摩崖仏を通して水落溪谷へと下り、朝鮮戦争時に韓国側が勝った記念碑(勝戦塔)を通して論山市のバス停に到着。バス停前の店の主人に停まっているミニバスに乗るよう教えられた。バスに89歳のおじさんが同乗され、「戦前九州に住み、戦後韓国へ引き揚げた。頂上に

は行かないが天気のいい日は山を歩いている。」と話された。儒城温泉に泊まっていると話すと、「付いてきなさい」とバスの乗り換えから大田市のバス停までご一緒いただき、感謝。

登山口



1回目の休憩



アップダウンの続く稜線 奥がテドン山



雲橋(クムダリ)・三仙階段・頂上(開拓塔)



三仙階段上部



新羅時代の石仏



21日(快晴) 内蔵山

ホテル 5:20(タクシー)＝大田駅(タクシー)＝西太田駅 6:25(国鉄)＝井邑(チョンウプ)駅 8時＝(タクシー)神仙橋(朝食) 8:20～9時＝(シャトルバス)内蔵寺(ネジャンサ) 9:40…登山口 10:05～15…休憩 10:45～55…稜線 11:05…仏出峰…望海峰…鶴峰…昼食 13:30～14時…神仙峰(シンソンボン 763m) 14:15～25…分岐 14:40…内蔵寺 16時＝(シャトルバス)神仙橋…内蔵寺バス停 16:30(バス)＝井邑駅 17:30＝西太田駅 20時(タクシー)＝ホテル 20:20

2日目は行先が遠いので4時に起床。韓国では紅葉で有名な内蔵山国立公園へ。最寄り駅が西大田駅なのに大田駅と勘違いし30分程時間ロス、皆さんすみませんでした。大田駅はKTXの駅でした。在来線の西大田駅からKorail(国鉄)に乗り、約1時間30分で井邑(チョンウプ)駅に着きます。駅前のタクシーに乗り、登山口でクッパ(雑炊)の朝食。

内蔵寺までは登山客や参詣客で賑わい、参道には飲食店が並んでいます。寺を過ぎると極端に人が減りましたが谷に沿った林道を終点まで歩くと登山口に到着。予定ルートを通り過ぎましたが、馬蹄形の主稜線を反対側から大きく迂回して縦走することとしました。

主峰の神仙峰を往復する予定が標高700m前後の低山とはいえ、アップダウンの連続で参加の皆さんには少しハードな山行となりました。稜線からは麓の平野が見え、岩稜帯を過ぎると紅葉の樹林帯を歩きます。登山者の多いピークは通り過ぎて神仙峰手前の見晴らしの良い尾根で遅い昼食を取り、主峰を通って古刹の内蔵寺へ下山。寺からは歩いてきた岩峰が紅葉に彩られて見えた。帰りは予定よりも遅くなり列車の時刻に合わせてバスに乗車したが到着時間がぎりぎりまで冷や汗をかいた。素晴らしい岩峰の尾根歩きが楽しめた1日でした。ホテル到着が遅くなり夕食は各自コンビニで買い部屋食としました。

西太田駅



井邑駅



望海峰



左奥の神仙峰に続く長い稜線



神仙峰(シンソンボン)



内蔵寺に下山



黄葉の参道



22日(晴れ) 扶蘇山城(フソサン)

ホテル 5:30=(タクシー)大田西部バスターミナル(バス)=7:50 扶余市外バスターミナル(朝食)8:30
 …扶蘇山城インフォメーションセンター 9時~9:10…扶蘇山門…三忠祠…泗泚楼…落花岩…阜
 蘭寺(コランサ)…軍庫址…扶蘇山門…インフォメーションセンター 12:30…扶余市外バスターミナル 13
 時(バス)=ソウル南部バスターミナル 15:10=(地下鉄)新村(江華島行 3000番バス)16時=江華
 バスターミナル 18:10=(タクシー)19:20 カンファリバーサイドペンション(泊)

百済の古都、扶余へ。ターミナル前のパン屋さんで朝食。できたての美味しいパンやサンド
 イッチをお店で食べて満足。、インフォメーションで荷物をロッカーに預け(無料)山門で入場料
 を支払い、扶蘇山城を歩く。百済滅亡の山城で今は史跡公園として整備され、滅亡時に

多くの宮女が身を投げたという落花岩は錦江に浮かぶ遊覧船も見えて美しい。その下の阜蘭寺で一杯飲むと3年若返るとい「薬水」を飲む。山城をほぼ一周し、バスでソウルへ。

江華島行のバスに乗り換え、バスターミナルに着くと日も暮れ、タクシーに乗るがペンションの場所が判らず、小嶋さんのスマホでようやく宿にたどり着いた。宿の周辺に食事のできる店は無く、オーナー夫妻にスーパーまで送迎して頂き、食材を調達して豪華な夕食となった。

不蘇山門



泗泚楼



落花岩の展望台と黄布帆船



23日(晴れのち雨)江華島

ペンション前バス停 7時＝バスターミナル 7:30＝支石墓 8時～8:30＝バスターミナル 9:30 黔岩(ジョンナム) 駅 10:30＝(鉄道)仁川空港駅 11:20…仁川空港 15:25＝17:15 関空 18時＝(帰途) 摩尼山は割愛し、河帖面(ハジヨムジョン)の支石墓のみ見学し仁川空港に向かう。

宿泊したペンション



支石墓(コイントル)



保存の作業中



初めての韓国、充分、楽しませてもらいました。色々なご配慮に感謝しております。不安な体調での参加も、快く受け入れて頂き、嬉しかったです。又、機会がありましたら、ご一緒させていただきたいと思います。三人揃って参加させてもらい、良かったですね！ (三崎)

思いもかけず海外の山に登る機会をいただき本当に貴重な経験をさせていただきました。紅葉のベストシーズンのチョイスからホテルの予約等引き受けいただき、大変楽しい登山と旅になりました。楽しい語らい、美味しい食事等思い出の1ページが増えました。 (小嶋)

言葉の違いに圧倒されハプニングもありましたが、楽しい思い出になりました。何より心配していた体調も三人とも問題なく無事に旅を終える事ができました。これも皆様のおかげです。 (渡壁)

全体として予定通りの行動が出来ましたが紆余曲折も有りました。参加者の皆様にはタイムリーな対応とその対応力の高さに感服しています。好天の中、素晴らしい紅葉で楽しい山行、ありがとうございました。 (村田)

ぐうたら理事長のつぶやき

今年も押し詰まってきました。今年の漢字は「災」だそうです。一年間色々な災害のあった年です。皆さんの身の回りでも思いもよらない災いがあったのではありませんか？

災いは忘れた頃にやってくるなんて言われていますが、最近では記憶の新しいうちに次々と起こります。温暖化の影響でしょうか？ でもそれは人類自らが招いたものでもあります。猛暑があれば、どこかで猛烈な寒さがあり、大雨が降れば、どこかで乾燥化が進んでいます。ある意味、人間が干渉しなくても長い目でみれば、地球は自らバランスを取っているように思います。

先日、松濤明さんの「風雪のビバーク」を読み返しました。私は、北鎌尾根での遭難の記録よりも「見知らぬ土地は頼りないものだ」で始まる「春の遠山入り」の文章が好きで、その文章を真似て報告など書いたものです。その結びに「あの白く輝く岳の奥から鄙びた不可思議な旋律が風に乗って伝ってくる。それが無性に私をひきつける。これを見、あれを聞く時、山へ行くのが苦しいから山へ行くのではなく、また楽しいから行くのでもない、純粹に一つのものを作り上げることのみを目指して、山へ入れるような、氷のような山男になることのいかに困難であるかをしみじみと感じるのだ」と書かれています。

私は何かを作り上げる氷のような山男になる気はありませんが、初冬のころ比良の山々を越えて吹き降ろす比良おろしを頬に受けると、様々な雪山の計画の中から今年はどこに行こうかと思ひ巡らすのが大好きでした。山の彼方にあるものに憧れる気持ちは幾つになっても失いたくないなと思っています。何を言いたいのかわからないまとまりのない文章になってしまいました。

1月には、以前計画して中止した鵜川左俣から境界尾根を下って北小松に戻りたいと思います。

1月19日(土) 8時20分 北小松駅集合

北小松～鵜川入口～縦走路～境界尾根～鵜川～北小松

参加していただける方は1月15日(火)までに友永に連絡してください。

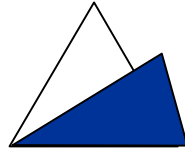
電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。

行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名	
1			1	1	比良・権現山	山友	
				1	権現山	雪稜	
				3	京都・愛宕山	山友	
				6	新春登山(武奈ヶ岳)	彷徨	
				6	新春登山 愛宕山	岳友	
				6	新春登山 大文字山	ちご	
	10	第11回理事会					
	12-14	妙高スキー(スキーネット)		12-14	北八ヶ岳	岳友	
	16	近畿ブロック代表者会		12-14	比良・八雲ヶ原	岳友	
				13	武奈ヶ岳	雪稜	
	19-21	CSS/雪山基礎講座2019 (中ア・將其頭山)		17	ミーティング	彷徨	
	24	第12回理事会		18-20	志賀高原ゲレンデスキー	山友	
				26	ミーティング	岳友	
		27	雪山体験教室 蛇谷ヶ峰	山友			
		27	鏡山・雪野山	雪稜			
		27	比良雪見山行 八雲ヶ原	ちご			
31-4	北海道十勝岳スキー(スキーネット)						
2			2	3	湖東・猪子山	山友	
				3	綿向山	岳友	
				3	黒山・岩尾山	雪稜	
				3	清滝山	ちご	
	7	代表者会、第13回理事会		9-10	雪中テント泊八雲ヶ原	雪稜	
	9-11	妙高山スキー・ゲレンデスキー(スキーネット)		9-11	明神平	岳友	
	15-17	CSS/雪山基礎講座2019 (奥美濃・大日ヶ岳、天狗山)		16	ダイヤモンドトレイル(行者峠～岩湧山)	彷徨	
	16-17	全国連盟評議会		17	第40回定期総会	雪稜	
	17	雪崩講習会 大日ヶ岳(スキーネット)		17	岩籠山(敦賀)	岳友	
				21	ミーティング	彷徨	
		23	ミーティング	岳友			
		24	田上 猪背山	ちご			
3	1-3	CSS/雪山基礎講座2019 (奥美濃・土蔵岳～猫ヶ洞)	3	2-3	野伏岳	岳友	
				3	虎子山	雪稜	
	7	第14回理事会					
	10	県連総会、第1回理事会		10	花見(梅)山行	ちご	
				14	ミーティング	彷徨	
	16-17	野沢温泉山スキー(スキーネット)		17	鈴鹿・油日岳～那須ヶ原山	山友	
				17	霊仙山	岳友	
				21	伊吹山地・上谷山	山友	
				24	鈴鹿・竜ヶ岳～静ヶ岳	山友	
				24	総会、ミーティング	岳友	
		24	紀見峠～金剛山(ダイトレ)	雪稜			
29-31	CSS/雪山基礎講座2019 (中ア・越百山)	31	能登ヶ峰	雪稜			
		31	山の辺の道(三輪)	ちご			

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部、スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



原稿の投稿先(2月号は2019年1月15日〆切)
メールアドレス okunoyutaka@yahoo.co.jp まで
原稿は **B5** サイズ、フォント **10.5~12** で、使用する写真は
200KB 以内としてください。皆様のご協力をお願いいたします。

「県連ニュース1月号」 No.498

発行日:2018年12月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0836

Email shigarosan@gmail.com

大津市杉浦町 9-30

ゆうちょ銀行(店名 418)

<http://shigarosan.jimodo.com/>

普通 0239956

発行責任者 友永芳和

編集委員 奥野 豊 高玉 敬子 東郷 京子